

セミナー



セミナー

セミナー資料販売

過去のセミナー

ダイレクトメールのご登録

[▶講座・セミナー一覧へ戻る](#)

ヘルスクエア産業・流通研究プロジェクト ヘルスクエア産業・流通セミナー2017 【2017年上期】

健康食品市場の拡大や、ヘルスクエアサービス提供手段の広がりに対し、「消費者の情報にもとづく市場創造」につなげるにはどうすべきか
政策動向調査と消費者調査から提言する

セミナーは終了いたしました。
多数のご参加ありがとうございました。

日時	2017年9月27日(水) 13:30～17:00
会場	(公財)流通経済研究所 大会議室 JR・東京外口有楽町線・南北線、都営新宿線「市ヶ谷」駅 (地下鉄A2出口直結) 〒102-0074 東京都千代田区九段南4-8-21 山崎ビル10F TEL. 03-5213-4531
参加費	1名につき 40,000円 (税込48,200円)
定員	30名 (10名に満たない場合には中止する場合があります)

報告1 ヘルスクエア産業・流通の最新動向

～ヘルスクエア産業・流通政策の最新動向と市場動向～

- ・「セルフディベーション」推進の現状と課題と対策
- ・地方自治体で独自に取り組むが進むヘルスクエア対応を考える
- ・健康食品市場の活性化と広がりに「食と健康」から、「機能性表示食品」の可能性を考える
- ・Eコマース対応の将来性
Amazonによる医薬品販売開始をどう捉えるべきか

報告2 「ヘルスクエア低関心世代」対策

～「未病対策がもっとも必要な40代」にどうアプローチすべきか～

- ・世代によって異なるヘルスクエアに対する取り組み状況
- ・「ヘルスクエア低関心世代」の意識と実態
- ・「ヘルスクエア低関心世代」が望むヘルスクエア対応は何か
- ・「低関心」を「関心」に寄せるために必要な対策

参加対象者

流通の分野でヘルスクエア産業の動向や消費者ニーズに関心をお持ちの方
(メーカー、卸、小売業の経営企画・販売・営業・流通企画担当者等)
※上記以外の方は、ご参加いただけません。事前に弊所までお問い合わせください。

「ヘルスクエア産業・流通セミナー」スケジュール

会場：(公財)流通経済研究所 大会議室(JR・地下鉄 市ヶ谷駅)

時間	内容
13:30 14:50	ヘルスクエア産業・流通の最新動向 ●視点①:ヘルスクエア産業・流通政策の最新動向 ・政府のヘルスクエア政策から読み取るべき点 ・地域で進んでいるヘルスクエア対応をどう見るべきか ●視点②:ヘルスクエア市場動向・企業動向 ・「健康食品」市場の広がり、売場展開における課題 ・製造業、卸売業、小売業それぞれのヘルスクエア対応 ・Eコマースによるヘルスクエア対応の可能性 (Amazon等の国内導入状況、海外事例)
(休憩 14:50～15:00)	
15:00 16:30	消費者調査報告:「ヘルスクエア低関心世代」対策 ●視点①:「ヘルスクエア低関心世代」とは何か ・消費者調査とデータから、40代における「ヘルスクエア低関心」の実態と意識を探る ・世代間のヘルスクエア消費実態 ●視点②:「ヘルスクエア低関心世代」対策 (流通経済研究所「ドラッグストア利用者調査」) ・世代や健康意識に応じて変わるヘルスクエア対応パターン (「利用者の意見」に対するテキストマイニング分析) ・「ヘルスクエア低関心世代」が求める点は何か
(休憩 16:30～16:40)	
16:40 17:00	報告のまとめ・提言 ●1年後(2018年)、3年後(2020年)、そして8年後(2025年)の変化と考えるべき点

※プログラムは変更場合があります。ご了承ください。

報告

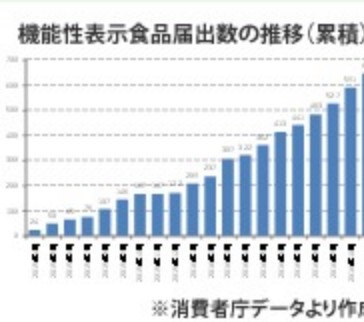
公益財団法人 流通経済研究所 主任研究員 加藤弘之
公益財団法人 流通経済研究所 主任研究員 重富貴子

報告トピックス

ヘルスクエア産業・流通の最新動向

●視点①:ヘルスクエア産業・流通政策の最新動向

- ・2017年における、政府のヘルスクエア分野における重点化項目
(データヘルスをはじめとするIoT活用の意味を考える)
- ・「機能性表示食品」など、食の機能表示の動き
(今後の見直し、関連団体による自主基準等、いまだできること)
- ・地域で進むヘルスクエア推進政策
(産業連携の観点での課題点と、今から取り組むべき点)



※消費者庁データより作成

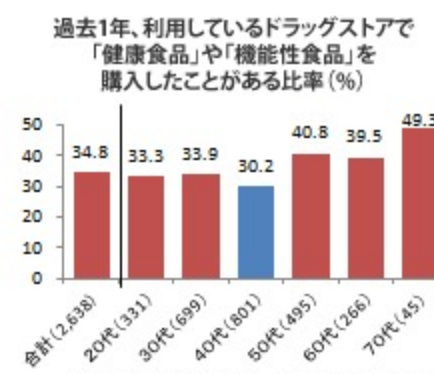
●視点②:ヘルスクエア市場動向・企業動向

- ・健康食品市場の動向
- ・「食と健康」市場の広がり(リスク低減食品(減塩など)、栄養補助食品など)
- ・「食と健康」の活性化に向けた取り組み
(製薬会社による売場提案、商品開発をどう見るべきか)
- ・Eコマース対応の現状と将来

消費者調査報告:「ヘルスクエア低関心世代」対策

●視点①:「ヘルスクエア低関心世代」とは何か

- ・40代のヘルスクエアサービスに対する関心が低くなっていること背景を考える
(ドラッグストアにおける、健康食品や機能性表示食品の購入経路率の低下)
(健康に対する意識、ヘルスクエア関連商品に対する購入実態)
- ・世代間における、ヘルスクエアニーズの違いを整理する
(ヘルスクエアを軸とした、年代別のターゲット設定を考える)
(若年層は健康に対して、どのような取り組みを行っているのか)



流通経済研究所「ドラッグストア利用者調査」(対象者:20代-80代女性)

●視点②:「ヘルスクエア低関心世代」対策

- ・流通経済研究所「ドラッグストア利用者調査」分析
(ヘルスクエア関連サービスに対する(自由回答)をテキストマイニングし、世代別課題を抽出)
(品揃えや接客、調剤サービスに対し、「ヘルスクエア低関心世代」が望むことを探る)

報告のまとめ・提言

●ヘルスクエア対応を短期～中期で考える

- ・1年後、3年後までに取り組むべき点
- ・2026年までに達成すべき点

「ヘルスクエア産業・流通セミナー2017」は年2回開催します

ヘルスクエアを軸とした消費者や政策面での最新動向や先行企業の事例を整理し、健康食品などヘルスクエア需要の活性化に向けた提言を行います。
次回(下期セミナー)は2018年2月に開催します。

お問い合わせ

公益財団法人 流通経済研究所
担当:土屋、重富、加藤(弘之)
住所:〒102-0074 東京都千代田区九段南4-8-21 山崎ビル10階
電話:03-5213-4531 FAX:03-5276-5457

[▶講座・セミナー一覧へ戻る](#)